

第5号様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	清須市次世代育成支援対策行動計画策定委員会
開 催 日 時	平成24年7月11日（水） 午後1時30分から午後2時50分
開 催 場 所	新川ふれあいセンター2階 大会議室
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 委嘱状伝達</p> <p>4 委員紹介</p> <p>5 清須市次世代育成支援対策行動計画策定委員会設置要綱について</p> <p>6 議題</p> <p>(1) 西枇杷島第2幼稚園の保育園化について</p> <p>(2) 清須市次世代育成支援行動計画の進捗状況について</p> <p>(3) その他</p> <p>7 閉会</p>
会 議 資 料	<p>会議次第</p> <p>資料1：清須市次世代育成支援対策行動計画策定委員会委員名簿・関係出席者</p> <p>資料2：清須市次世代育成支援対策行動計画策定委員会設置要綱</p> <p>資料3：保育園・幼稚園の整備について</p> <p>資料4－1：西枇杷島第2幼稚園の保育園化について</p> <p>資料4－2：清須市教育委員会・西枇杷島第2幼稚園PTA役員の意見等について</p> <p>資料5：西枇杷島地区の児童について</p> <p>資料6：西枇杷島地区の児童の保育所等入所内訳について</p> <p>資料7：西枇杷島地区の児童の入所推移について 保育園・幼稚園の配置</p> <p>資料8：清須市次世代育成支援行動計画の進捗状況について</p>
公 開 ・ 非 公 開 の 別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍 聴 人 の 数	3人
出 席 委 員	小川委員、村瀬委員、日下部委員、齊藤委員、荒

	川委員、中川委員、山田委員、塚本委員、花井委員、建部委員、谷委員、原田委員、中田委員、内田委員、青木委員
欠席委員	堀田委員
出席者(市)	加藤市長、大鐘健康福祉部長、浅田学校教育課長
事務局	〔子育て支援課〕林課長、杉村主幹、伊藤副主幹、浅井係長、石黒主査
会議の経過	
事務局	<p>皆様こんにちは。私は、本日の司会を務めさせていただきます健康福祉部子育て支援課長の林でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>開会に先立ちまして、本日の委員の出席状況について、ご報告させていただきます。</p> <p>本日は、堀田委員、1名の欠席であります。</p> <p>次に、お手元に配布の資料2の次世代育成支援対策行動計画策定委員会設置要綱をご覧ください。</p> <p>本委員会は、要綱の第6条第2項の規定により、本日は委員の過半数以上の方のご出席をいただいておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。</p> <p>なお、清須市附属機関等の会議の公開に関する要綱では、附属機関等の会議及び会議録は、清須市情報公開条例の規定に基づき非公開という扱いをしているものを除き、原則公開することとなっています。</p> <p>非公開としている情報は、個人情報などですが、本日の会議では非公開とされる事項を審議する予定はございません。</p> <p>従いまして、本委員会及び会議録は公開とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日は、傍聴者の方がお見えになっております。傍聴者の方には、入場していただいておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、ただ今から次世代育成支援対策行動計画策定委員会を開会いたします。</p> <p>開会にあたりまして、加藤市長からご挨拶申し上げます。</p>
加藤市長	<p>改めまして、皆様こんにちは。</p> <p>皆様方には、大変お忙しいところ、次世代育成支援対策行動計画の委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、平素は、子育て支援を始め市の各方面において、ご理解ご協力いただき、市政進展のためにお力添えいただき、この場をお借りしまして、厚くお礼を申し上げます。</p>

事務局	<p>さて、現在、市内には保育所が13園、幼稚園が2園あり、4月1日現在で保育所・幼稚園合わせて1,825人の児童が入所しています。</p> <p>17年7月に合併した際の主な課題といたしましては、幼稚園が西枇杷島地区に偏在しているということ、乳児の保育ニーズに対応すること、保育園の耐震化などでありました。</p> <p>その内、乳児の保育ニーズ、保育園の耐震化については、昨年度までに須ヶ口保育園の増改築耐震工事、また花水木保育園の建替えをそれぞれ終え、本年度は、朝日保育園の耐震化工事に着手する予定で、着実に対応してきたところあります。もう一つの大きな課題であります幼稚園の偏在については、これまで、この委員会でも議論いただいておりますが、本日も現在の状況をご説明しまして、ご意見を賜りたいと存じますので、よろしく願いいたします。</p> <p>また、次世代育成支援行動計画の重点事業の一つには、図書館の整備がありました。これにつきましてもお陰をもちまして、平成17年7月7日の七夕の日に誕生して、市制7周年にあたる、この7並びの記念すべき平成24年7月7日の先週土曜日に『図書館』がオープンいたしました。</p> <p>図書館の隣には、美術館や公園もあり、文化ゾーンとして、親しみを持って気軽に利用していただく、本市の生涯学習の拠点として大いに期待されているところであります。</p> <p>また、もう1つは合併7周年ということで、清洲城の広場に濃姫の像がありました。また、清洲公園の中に桶狭間の方向を向いた信長の像が立っているわけですが、長年離れ離れになっていました濃姫を信長の隣に移しました。</p> <p>そしてこの地を「始まりの地、二人の愛と希望の丘」とネーミングをつけました。この場に若い人もカップルで行っていただくと縁が結ばれる。ご夫婦で行っていただくと、より絆が強まるこういった場所として、それから、この地の観光資源としてPRしていきたいと、ぜひ皆さんにもご覧になっていただきたいと思っております。</p> <p>最後に、本日は、後ほど担当より清須市の保育ニーズなどの現状を説明させていただきますが、皆様方の忌憚のない意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、委嘱状伝達についてですが、今回は、学校、幼稚園、保育園、児童館などの代表の方々がかわられたことで、新たに6名の方を委員にお願いさせていただいております。</p> <p>新たに委員になられた方々には、本来、市長から、直接、委嘱状を</p>
-----	---

	<p>お渡しするところですが、時間の関係もありますので、自席に置かせていただき、委嘱状の伝達に代えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、委員の方々のご紹介については、お手元の資料1の名簿にて、紹介にかえさせていただきます。職員等についても名簿に記載しておりますので、ご参照ください。</p> <p>次に、この委員会の設置について、ご説明いたします。</p> <p>資料2をご覧ください。第1条にありますように、この委員会は、清須市の次代を担う子供たちが、健やかに育つ環境を整え、計画的に推進するための計画の策定、見直しを行うのが、設置目的となっております。</p> <p>次に、副委員長の指名について、ですが、昨年度、副委員長でありました保育園連絡協議会長が代わられましたので、副委員長について、設置要綱第5条により、建部委員長から指名をお願いします。</p>
建 部 委 員 長	<p>昨年度、保育園連絡協議会の会長に副委員長お願いしておりましたので、慣例により副委員長に保育園連絡協議会の 山田紀子 様を指名したいと思います。</p>
事 務 局	<p>副委員長に 山田紀子 様をご指名いただきましたので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、山田委員におかれしては、副委員長席に席をお移りください。</p> <p>それでは、建部委員長、一言ごあいさつをお願いします。</p>
建 部 委 員 長	<p>昨年度に引き続き委員長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に入りたいと思います。議事進行につきましては、設置要綱の第6条の規定により委員長が議長となることとなっておりますので、議事進行につきましては、建部委員長に議長をお願いします。</p>
建 部 委 員 長	<p>規定に基づき議事の進行を務めさせていただきますが、皆様方のご協力をお願いします。なお、会議録署名委員を日下部委員、中川委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、議事に入ります。なお、ご意見、ご質問につきましては、議事ごとにお受けしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。最初に、「西</p>

事務局	<p>枇杷島第2幼稚園の保育園化」について、を議題とします。事務局から説明をお願いします。</p> <p>子育て支援課の浅井です。それでは、議題1についてご説明させていただきます。資料3から7まで、続けて説明させていただきます。</p> <p>まず議題1「西枇杷島第2幼稚園の保育園化について」、資料3「保育園・幼稚園の整備について」をご覧ください。</p> <p>清須市では、多様化する保育ニーズに応えるため、次世代育成支援対策行動計画の委員会を継続的に開催し、協議・検討を重ねてまいりました。</p> <p>こうした中、幼稚園の保育園化などの検討課題について、さらに一層、効果的、かつ、効率的な保育園の整備を進める必要があります。</p> <p>今後は、下記の計画などの、施設整備の基本ルールとして、対象園となった保護者の皆様へ、適宜説明していくものとし、保護者の皆様からご意見を伺いながら進めてまいります。</p> <p>ここで、新たに委員になられた方も、お見えになりますので、今までの経過を簡単にご説明させていただきます。</p> <p>資料3の左側、中段の平成20年3月の「幼児教育プラン」では、アンダーラインのとおり、乳幼児の増加が予想される地域への対応が、課題となっています。</p> <p>平成22年2月の「公共施設のあり方基本方針」では、保育園は公立による運営。乳幼児保育の充実。幼稚園は、保育園化を検討。対象は、西枇杷島第1及び、第2幼稚園です。</p> <p>平成22年3月の「次世代育成支援行動計画」では、「公共施設のあり方基本方針」と整合性を図るものとしします。</p> <p>平成23年3月の公立保育所・幼稚園整備ガイドラインでは、西枇杷島第1、第2幼稚園は、保育園に用途変更することを検討。理由は、保育園の乳幼児の受入数の増加を図るものです。</p> <p>対象園の選定ですが、平成24年1月11日に行なわれました、前回、この委員会におきましても、第2幼稚園の保育園化について、審議して頂いております。</p> <p>その場では、保育園化の時期については、今後、第2幼稚園の保護者の皆様のご意見を頂きながら進めていくことで終了しております。</p>
-----	---

ここまでの経過です。

このような状況の中、事務局としては、平成26年4月を目標に、第2幼稚園の保育園化に向けて関係課と調整しております。

資料4-1をご覧ください。資料4-1をもとに、6月27日には学校教育課が教育委員会委員様に、7月6日には、学校教育課と子育て支援課合同で、第2幼稚園PTA役員様に説明いたしました。

(1)の清須市の保育園の現状についてですが、清須市には、合計13の保育園があり、その内訳ですが、西枇杷島地区1園、清洲地区5園、新川地区4園、春日地区3園となっています。

そして、下のグラフの清須市全体の保育園入所児童数の、年度別推移、これは各年10月1日現在です。3歳児から5歳児は、横ばいで推移していますが、0歳から2歳の乳児が18年度では、268人、23年度では、358人。人数では、90人、約1.3倍増加しています。

続いて、(2)西枇杷島保育園の現状についてですが、先ほどご説明しましたとおり、西枇杷島地区には、保育園が1園しかなく、定員以上の希望があり、他地区の保育園に行かざるを得ない状況となっています。

特に0歳から2歳の乳児の受け入れが困難な状況となっています。

これは、働く母親の増加により、自宅近くの保育園で、長時間保育のニーズが高まっている状況です。

その下のグラフは、後ほど資料5で、詳しくご説明させていただきます。

(3)の西枇杷島第2幼稚園の保育園化についてですが、先ほどご説明しましたとおり、第2幼稚園の保育園化の必要性が認められ、第2幼稚園を平成26年4月、目標に、保育園化に向けて説明しました。

そして、説明会でのご意見、ご要望は、資料4-2のとおりです。資料4-2をご覧ください。

まず、左側が、清須市教育委員会でのご意見などです。意見、懸念事項、考え方と分けさせていただきました。まず、意見として、「保育園の待機児童を少なくということは分かりますが。」「保護者が幼

稚園、保育園の入園を考えると、周りに左右されることが多い。よほど教育熱心な家庭は私立（わたくしりつ）に入れると思う。」「現在の年少に配慮し、卒園した後の27年度でもよいのでは。」「第1幼稚園もなくして、すべて保育園化にしたらどうか。」「第2幼稚園の土地を売却して、他の場所という考えはないか。」「工事中、園児の移動先で“みずとぴあ”は使えないか。」

懸念事項として、「施設整備で相当の費用・時間がかかると思う。26年度に間に合わないのではないか。」「第2幼稚園が保育園になると、乳児は自転車での通園が難しいので、車での通園になると道が狭いため駐車場の対応を。」「第2幼稚園が保育園化したら、第2幼稚園から第1幼稚園へと希望される方もいると思う。定員は大丈夫か。」「幼稚園の授業料は、保育園並みに、金額が上がるのでは…。」

考え方として、「平成26年度からの保育園化については、現在、通園している児童がまだ卒園していないため、保護者の意見をよく聞いて、事業を進めていく必要である。」

以上が、清須市教育委員会でのご意見などです。

続いて、右側が、第2幼稚園PTA役員様のご意見です。

まず、意見として「現在の年少は、入園時に26年度保育園化の説明を聞いていないので第2幼稚園で卒園できると思っている。第2幼稚園で卒園できないことは納得できない。市として説明責任を果たしてないのでは。」「現在の年少の園児でも、当初は第1幼稚園希望していたが、定員超過のため、市からの依頼で第2幼稚園に入園した児もいる。それを年長で第1幼稚園へ転園することは納得できない。」「26年度保育園化で第1幼稚園へ転園するなら、バスでの送迎が必要では。また、転園で必要となる費用は補填するのか。」「清須市立幼稚園の入園受付は、9月に行われるが、その時点で保育園化の時期を公表しても、既に私立（わたくしりつ）幼稚園の入園受付が8月に終了している。幼稚園希望の保護者は清須市立、私立（わたくしりつ）を問わず7月以前に検討しているので、9月公表では遅く、どこにも入園できない可能性があると思う。」「在園児の保護者で、今後、第2幼稚園への兄弟入園を考えている方もいる。早期に全体説明をして欲しい。」「清須市立幼稚園があることはいいことなので、第2幼稚園自体を存続して欲しい。」「保育園化のための改築工事中、園児の移動、方法はどうか。また、環境が変わる園児への精神的な配慮はどうか。」「今回の話し合いのことが、他の保護者にも広

まっていると思う。PTA役員への問合せがあるので、経過報告、また、決定後の内容を速やかに知らせて欲しい。」「現時点での待機児童0人という中で、保育園化は納得できない。」

懸念事項として、「保育園化すると、働く保護者は車での送迎になると思う。近隣から今以上に苦情が増えるのでは。また、駐車場が無いなか乳児の保護者が保育園後の園に通園するとは思えない。」「保育園化公表後、年少児の入園希望は減少すると思う。年少から年中の年齢バランスが不均等になり、適切な幼児教育が出来なくなるのでは。」「保育園になると幼稚園のような幼児教育が受けられなくなると思う。認定こども園ということも考えられないだろうか。」

考え方として、「地区、地域性を考えたら古城地区に保育園を新設した方がいいと思う。」「既存施設を保育園にしてはどうか。市全体で保育ニーズに対応して、場所はどこでもいいと思う。」「26年度の保育園化は、早すぎると思う。27年度でも、まだ準備不足と思う。保護者の意見をよく聞いて移行には、十分配慮していくことが必要と思う。」

以上が、第2幼稚園PTA役員様のご意見などです。

そして、資料5のグラフをご覧ください。

西枇杷島第2幼稚園の保育園化について平成26年4月を目標している理由について、ご説明させていただきます。

このグラフは西枇杷島地区から他地区の保育園へ通う児童数の推移です。

18年度から24年度までの実績、25年度は見込みです。

18年度は乳児9人、幼児9人の合計18人が、19年度、38人、20年度、50人、21年度、55人、22年度、58人、23年度、68人、24年度、79人で、右肩上がり推移しており、25年度では、95人と見込んでいます。

次に、右側の点線で囲んだ箇所をご覧ください。

グラフでもわかるように西枇杷島保育園に入所できない児童が年々増加。

西枇杷島保育園が第一希望だが定員オーバーのため保育園の入所をあきらめた児童数は、ご覧のとおり、24年度、9人、23年度、4

人となっています。

また、大型集合住宅入居などの、社会的要因により、子育て世代の増加が見込まれることから、25年度では、95人が他地区の保育園に行かざるを得ない状況が見込まれます。

続いて、資料6をご覧ください。

これは、23年度の西枇杷島地区の児童の保育所などの入所内訳です。

5歳児は、公立幼稚園57.8%、私立（わたくしりつ）幼稚園16.3%、西枇杷島保育園17.8%、他地区保育園8.1% となっています。

4歳児は、公立幼稚園58.0%、私立（わたくしりつ）幼稚園18.1%、西枇杷島保育園14.1%、他地区保育園9.8% となっています。

3歳児は、公立幼稚園58.2%、私立（わたくしりつ）幼稚園21.0%、西枇杷島保育園16.8%、他地区保育園4.0% となっています。

2歳児は、西枇杷島保育園55.0%、他地区保育園35.0%、私立（わたくしりつ）幼稚園10.0%、 となっています。

1歳児は、西枇杷島保育園59.3%、他地区保育園40.7%、 となっています。

0歳児は、西枇杷島保育園50.0%、他地区保育園50.0%、 となっています。

続いて、資料7をご覧ください。

上段は、各年4月1日現在の西枇杷島保育園入所推移です。おおむね、定員の130人で推移しています。

その下の、各年4月1日現在の西枇杷島第1、及び2幼稚園入所推移です。

第1幼稚園は、定員270人に対し、142～200人で、推移しています。

第2幼稚園は、定員250人に対し、116～126人で、推移しています。

次に右側の地図をご覧ください。

保育園・幼稚園の配置は、参考としてつけさせて頂きました。

	<p>以上「西枇杷島第2幼稚園の保育園化について」の説明を終わらせていただきます。</p>
建 部 委 員 長	<p>ただいま、議題1の「西枇杷島第2幼稚園の保育園化について」事務局からご説明ありましたが、ご意見、ご質問がありましたら、挙手をお願いします。</p>
荒川委員	<p>聞き漏らしたので、最後の資料で第1幼稚園の定員数は？</p>
事 務 局	<p>第1幼稚園の定員数270人です。</p>
荒川委員	<p>270人ですが、今現在、第1幼稚園に園児が202か203人位いると思います。私の子が第1幼稚園の年少に通っていますが、第1幼稚園の児童が200人を超えると幼稚園に通えなくなるので、貴方の地区は第2幼稚園の地区なので、第2幼稚園に通って下さいと言われ、それでも定員を超えていると私立に通ってほしいと言われました。</p>
事 務 局	<p>定員については第1幼稚園270人、第2幼稚園250人と合併のときから決まっています。今までで児童数が一番多いときで、第1幼稚園約250人。現在は200人です。3歳児、4歳児、5歳児現状の幼稚園設置基準では35人が1クラスとなっているが、現状35人の3歳児をみるのは大変ということで、そうした中、200人程度の入所者数で対応しているところです。</p>
荒川委員	<p>私の子供も第1幼稚園の年長さん、1番下の子は複数いて年少です。年少の入園の時には、認定こども園になるという噂は聞いていたが、それはないと聞いて入園したので、卒園の時に違うといわれると少し理解できない。以前、資料を配られたときに26年度からなるということですが、それでは自分が第2幼稚園に通っていたとなるとちよっと納得できない。</p>
事 務 局	<p>26年度というのは課題を最短で解決していくとそうなるというものです。幼稚園という学校教育施設を保育所の児童福祉施設となると、改修工事が必要となるので、仮に改修工事を25年度に対応した場合、最短で26年度ということで話をさせていただきました。本日、皆様に集まっていた中で、そうした年度などをご意見いただき、検討したいと思います。</p>
荒川委員	<p>第2幼稚園がもし保育園化となると0歳児の乳児からそこに通う</p>

	<p>こととなるのか。それとも、自転車に乗せて通える3歳児の幼児から通えるようになるのですか。</p>
事務局	<p>今現在、保育所13園あるが全て乳児、9か月から預かっています。1か所だけ7か月から預かっています。基本的な考えとして第2幼稚園を保育所化した場合、0歳児の乳児から預かれるようにすることと考えています。</p>
日下部委員	<p>資料4の1の部分。枠の右側。保育園と幼稚園の保育料、授業料の差がありますが、保育園並みに上がるのではと指摘があります。市の考えはいかがでしょう。</p>
事務局	<p>保育料と授業料は確かに差があります。保育園はあくまでも長時間1日8時間。幼稚園は1日5時間。時間的には5時間と8時間。仮に毎日、幼稚園を1日8時間。仮に幼稚園で長時間保育使った場合1日240円。仮に20日使った場合4,800円の加算となります。保育園ですと所得や年齢によって変わりますが、3歳児ですと平均13,453円。4・5歳児ですと12,886円となっております。保育料・授業料の差は課題と思っています。</p>
小川委員	<p>今まで策定委員会に出席させて頂いております。順次、幼稚園の保育園化というのは具体的な話までいってなかったのですが、今の時代、世代で考えますと、長時間、保護者の方が家に居なくてはならないという時代でなく、それぞれ勤めに行って、夜6時まで必要であれば、保育園で預かりをするということで、6時まで子どもを13園で保育しているわけです。現状、西枇杷島の保育者がわざわざ新川地区、清洲、春日地区まで、西枇杷島地区では保育園に入れないということで他地区に通っている。その理由は勤務の状況からということで、前回の策定委員会では、第2幼稚園のPTA会長さんも保育園化について今の時代、致し方ないのではというご意見があがりました。順番に前に進み、保育園を多く作るのが良い形になるのかは別として、幼稚園教育も必要ですが、今の世代、親御さんの収入、女性の職場進出が可能になるように、ここでは決定ではなく意見を出していますが、26年は1つの目処で、いろんな場所でアンケートを取り、会議をしています。この場では、26年を1つの目処で、具体的にこうやれるかどうかということで審議しているのですか。それとも、こうやっていくので協力をお願いしたいというどちらなのでしょう。</p>
事務局	<p>本日はPTA役員様などからのご意見をご提案いただいております。なお、26年度が適切かどうか検討していただきたいと思っております。</p>

	<p>26年度となると3歳児がまだ卒園していないと、ご意見等を貰っています。そういった中で年度につきまして検討していただきたいと思っております。</p>
小川委員	<p>数々の問題点がありますが、保育園化が妥当かどうか、また、そうできるか、ということや第2幼稚園を26年ないし27年で円満に移行ができるかどうか、ということを審議していると考えてよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>そういった方向性でご検討していただきたいと考えております。</p>
小川委員	<p>一例ですが、3歳児が26年度だと在園中に変わらなくてはいけないということですが。次の年からは3歳児は募集しないのですか。募集した上で途中から変わってもらうのですか。</p>
事務局	<p>3歳児の募集ですが、来年度は今年の9月、10月に始まりますが、今後の将来的方針を説明しながら募集をかけます。</p>
小川委員	<p>保護者の方に理解していただいた上で募集をかけるのですね。</p>
荒川委員	<p>第2幼稚園の保育園化となると、働いていないと入れないということですか？</p>
事務局	<p>資料4の1にありますが、就労していない方でも、私的契約児ということで可能です。</p>
荒川委員	<p>私的契約だと額が上がります。私立幼稚園に行くほど教育を求めているが、市立幼稚園に行って社会性を身につけてほしいので、金額が安い第1幼稚園、第2幼稚園を利用していることもありますので、この値段だと難しいと思います。</p>
事務局	<p>私的契約児の保育料につきましては、こういった金額で、お願いしたい。</p>
荒川委員	<p>なぜ保育園なのでしょう。認定こども園でないのは、どうしてですか。</p>
事務局	<p>認定こども園は民営化ということが前提でガイドラインをお示しさせていただきました。学校法人、社会福祉法人からの申し出があった場合は積極的に考えていこうと考えています。</p>

内田委員	<p>第2幼稚園PTAの役員と話し合いをしたということですが。例えば、現時点での待機児童0人という中での保育園化は納得できないことについて、聞かされただけなのか、それとも、それに対してお答えしたのですか。</p>
事務局	<p>待機児童については、質問がありましたので、0人ですとお答えしました。待機児童0人といっても、24年度の西枇杷島地区で44人西枇杷島保育園を希望されましたが、入所できたのは25人。他の44%の方、9人は諦められ、10人は他の地区の保育園に行ってもらいました。</p>
原田委員	<p>現実的に保育園を必要としているのですから、市立幼稚園があったのもありがたかったが、待機児童をなくすために保育園化したいとお話をして、逆行ではなく、保育園化にするため、なるべくスムーズに進むように話し合っていくことが必要だと思いますが。</p>
谷委員	<p>待機児童0人という中には、西枇杷島保育園に入れなくて、他地区行っているために、例えば、須ヶ口保育園の近くに住んでいるが本町保育園に通ってもらっている事例もあると思います。そういったしわ寄せがいろいろなところで来ているのではないのでしょうか。全体としてみれば、待機児童0人といっても、西枇杷島地区だけでなく、他の地域のしわ寄せが来ているということで、市で調整していて、待機児童0人になっているだけだと理解しています。</p>
事務局	<p>現状79人の西枇杷島地区の子供が須ヶ口保育園や土器野保育園などに通ってもらっています。逆に土器野保育園を希望されても違うところに通ってもらっている場合もあります。</p>
荒川委員	<p>保育化が反対というわけではなく、説明が遅すぎるということだと思います。例えば、今の年少が入る1、2年前に説明がなかったのが問題ということです。また、9月に募集が始まりますが、いつから保育園になると広報などでも説明がないと保護者は、市立幼稚園を選択しようかどうしようかと悩めないということでは、親が困るということです。そこが問題だということです。</p>
加藤市長	<p>今まで段階を踏んで議論してきた、そういった時期のずれる問題もあるので、そろそろ結論を出したい。そして移行期をどうやってやるかを考えたい。保育にかける児童を基本的に市内で保育していきたいと考えています。現在の保育園は幼稚園化した保育園と思っています</p>

	<p>ので、保育園をより幼稚園化していくことを目指したい。幼稚園は他にもまだ受け皿があると思っています。今、1番必要なものが何かなど途中での問題も考えスムーズに移行したい。</p>
荒川委員	<p>何年に保育園に移行すると聞いても、近くなれば第2幼稚園に行きたいとか、遠くても第1幼稚園や私立幼稚園もあるからどうしようかなど親はそういった選択をしたいので時期が決まったら教えてほしい。</p>
事務局	<p>通っている保護者やこれから通うとする保護者に説明会をしたいと思います。</p>
建部委員長	<p>よく行政もいろいろ慎重に考えていただき、できるだけ早く移行していただけたらと思います。</p>
内田委員	<p>今、私は立場上、幼稚園は管轄で、教員出身ですが、幼稚園から小学校へあがった子、保育園からの子ともに全然変わりありません。保育園も幼稚園でも小学校でのスタートは全然変わらない。公立幼稚園の基本方針は遊びの中に教育をとり入れていく事となっています。しかし、今の保育園も遊びの中で自分の名前を書いたり、数字を数えたり、本を読んだり、まったく変わらないのです。私立幼稚園ですと1つの営業ですので、算数などを早く教えるなど、英才教育を行い若干違いますが、それでも、小学校1年生になりますと大体同じスタートになります。日常生活の基本的なことやしつけ等が保育園、幼稚園で行われていれば、小学校としては十分やっていけます。保育園、幼稚園だからやっていけないということはありません。幼稚園は教育をして、保育園は教育しないということではない、とご承知置きください。</p>
小川委員	<p>26年度でなく、27年度でということで納得、理解を、保護者会などに納得できる答え、手順を次回に示していただきたい。そうであれば、26年度でも27年度でも円満に皆さんが安心できる子育てができるようお願いします。</p>
事務局	<p>年度につきましては今後、事務局と関係者、皆様と考えて決めていきたいと思っています。</p>
建部委員長	<p>続きまして、議題2の「次世代育成支援行動計画の進捗状況について」事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>子育て支援課の伊藤と申します。それでは、議題2についてご説明さ</p>

させていただきます。

まず、お手元に配付しております、カラー刷りの「清須市次世代育成支援行動計画」概要版、表紙から2枚、おめくりください。

右側、計画の重点的な取り組みをご覧ください。

これは、平成22年3月に策定した「清須市次世代育成支援行動計画」の後期計画、第4章で、特に重点的に取り組む事業を掲げています。

上から、大項目、保育サービスの充実として通常保育、延長保育、病後児保育などの事業を設定しています。

次に、子どもの居場所づくりの充実として、放課後子ども教室の本格実施、児童館、図書環境などの充実を設定しています。

次に、療育支援の充実として、療育についての啓発、療育の質の向上などを設定しています。

さきほどの資料に戻りまして、資料8「次世代育成支援行動計画の進捗状況について」をご覧ください。

ただいま、ご説明しましたとおり、「次世代育成支援行動計画」の後期計画、第4章の、特に重点的に取り組む事業の進捗状況です。

2（1）保育サービスの充実①の病後児保育事業をご覧ください。

以前は、須ヶ口保育園の1か所のみでしたが、新築した花水木保育園で、病後児保育事業を開始しており、須ヶ口、花水木保育園とで2か所となりました。達成年度は24年度です。

（2）子どもの居場所づくりの充実①の放課後子ども教室の本格実施をご覧ください。

以前は、新川小学校、春日小学校の2か所のみでしたが、西枇杷島小学校、清洲小学校を追加したことにより、4か所となりました。達成年度は22年度です。

続きまして②の図書環境及び美術環境の充実をご覧ください。

先ほどの市長のごあいさつにもありましたとおり、「夢広場はるひ」の一角にあった旧保健福祉センターを改築して、7月7日に、市立図書館をオープンしました。達成年度は24年度です。

皆様のお手元に配付しております図書館のパンフレットと図書館だより創刊号を配付しておりますので、お持ち帰りください。

以上「次世代育成支援行動計画の進捗状況について」の説明を終わらせていただきます。

建 部 委 員 長	ただいま、議題2の「次世代育成支援行動計画の進捗状況について」事務局からご説明しましたが、ご意見、ご質問がありましたら、挙手をお願いします。
日 下 部 委 員	耐震化についてですが、須ヶ口保育園、花水木保育園については、すでに終わっていきまして、朝日保育園の耐震化が今年行われます。お金がかかることですが市として今後、どのような計画を考えられていますか。
事 務 局	耐震化が不十分な施設は、新清洲保育園、一場保育園及び夢の森保育園の3園ありますが、今後そうした施設については、入所者数の状況を見た上で、統廃合も含めて検討してまいりたいと考えております。
建 部 委 員 長	<p>特にご意見もないようですので、以上で、本日の議事は全て終了いたしました。</p> <p>皆様方のご協力によりまして、会議を円滑に進めることができましたことに、お礼申し上げます。長時間に渡りまして、ご協議ありがとうございました。今後ともよろしく申し上げます。</p> <p>これを持ちまして、本日の次世代育成支援対策行動計画策定委員会を閉会いたします。皆様、ご苦労さまでした。</p>
会 議 の 結 果	決議に付する議事なし

上記のとおり会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 24 年 7 月 27 日

委員 日下部 壽子 

平成 24 年 7 月 27 日

委員 中川 裕理 